

6. プロメトリック株式会社 試験配信ソリューションのウェブサイト

企業名	プロメトリック株式会社
機器・サービス名	試験配信ソリューションのウェブサイト(https://www.prometric-jp.com/)
問合せ先	プロメトリック株式会社 広報・マーケティング部 Email : pjp-marketing/atmark/prometric.com https://www.prometric-jp.com/contact/press/ (注)スパムメール防止のため「@」を「/atmark/」と表記しています。
機器・サービスの概要	プロメトリック株式会社は、試験配信・評価ソリューションのプロバイダーとして、コンピュータによる試験実施(CBT/IBT)および関連するソリューションを提供しています。 また、弊社ウェブサイトは、受験者・試験主催者団体向けに、当社サービスについて案内しています。
機器・サービスの特徴	1. 機器・サービスの機能 ● 受験者向け: 受験に関する案内(試験日、試験会場、受験手順など) ● 試験主催者団体向け: 試験配信・評価ソリューションサービスに関する案内 2. 情報アクセシビリティの配慮内容 ● JIS X 8341-3:2016 レベルAA 準拠、WCAG 2.2 レベルAA 適合 ● すべての人に公平公正な環境で試験を受験できる取組をウェブサイト、弊社試験会場で実施 3. その他 ● 世界180か国、8,000を超えるテストセンター(CBT)で受験可能 ● 47都道府県のテストセンターで配慮が必要な受験者に適切な対応を実施 ● 車いすでの受験、機器の持ち込み ● 試験画面の拡大、配色の変更 ● 筆談、読み上げ、代理入力および個室の提供や、IBTを利用した自宅受験など ※会場によって提供可能な合理的配慮は異なります



情報アクセシビリティ好事例

プロメトリック株式会社 試験配信ソリューションのウェブサイト

受験者向けのご案内

受験者の方

世界水準のCBT Computer Based Testing

プロメトリック

Futures Start Here.

試験を予約する

会場を探す

Specified Skilled Worker Tests についてはこちら

受験にあたって

- 受験の流れ
 - 1 受験の流れを見る
 - 2 ID作成・予約の手順を見る
 - 3 試験当日の流れを見る
- CBT 体験版
 - 1 CBT 体験版を見る
- 開催状況
 - 1 開催状況を見る
- 受験関連
 - 1 本人確認書類
 - 2 スコアレポート
- 支払関連
 - 1 支払方法
 - 2 Web領収証
- その他手続き
 - 1 配慮申請
 - 2 ID発行 送
 - 3 ID発行 送
 - 4 ID発行 送

試験主催者団体向けのご案内

試験主催者の方

プロメトリックは世界のCBTリーディングカンパニー

世界180カ国、日本200会場で

最先端のCBT による 試験を提供

詳しくはこちら

主催者団体様への3つの約束

私たちは試験の開発・実施・分析までを総合的に支援する試験のプロフェッショナル企業です。



確かな品質

試験実施環境の整備性、受験者の公平性、受験の安定性を世界トップの品質を提供します。



最適な価格

お客様のニーズに合わせて、最適な価格のサービスを提供します。



信頼

年間700万試験以上、累計2億試験以上の累計トップの実績が信頼の証です。

プロメトリックの試験運営サービス

プロメトリックは資格制度の設計から、試験問題の作成・管理、試験実施運営、試験結果の分析までの総合的なサービスをワンストップでご提供します。



CBT

CBT(Computer Based Testing)とは、専用会場に集合して、コンピュータを使って試験を実施する方法です。

- 1 CBTについて
- 2 CBT体験版



遠隔監視付きIBT

自宅やオフィスなどのインターネットとコンピュータを利用して、遠隔の監視下で受験する方法です。

- 1 遠隔監視付きIBTについて



試験開発支援サービス

試験の品質を高い水準で維持・向上するため、テスト理論等に基づいた科学的な試験結果分析や試験問題作成支援を行います。

- 1 試験開発支援サービスについて



運営サポート

予約・決済システムや主催者団体向け管理システムなど、試験運営をサポートするサービスをご用意しております。

- 1 運営サポートについて

当事者ニーズを 踏まえた開発

- 設計開発の段階で、アクセシビリティの専門家に懸念点を相談し、具体的な実装方法の改善を行っている。実装後も、彼らからの継続的なフィードバックを受け、必要に応じて微調整を繰り返し、製品の情報アクセシビリティを高いレベルで維持している。
- アクセシビリティのガイドラインを当社のウェブサイトに掲載し、社内・社外向けにも発信をしている。

企業としての 組織的な取組

- 全社向けに、情報アクセシビリティの理解が進むために、トレーニングの受講およびガイドラインの理解を推奨し、社員が情報アクセシビリティを考慮した設計や開発が実施できるように支援している。
- ウェブサイトのみならず、当社テストセンターでは、合理的配慮を求める受験者の方にも公平な受験の機会を提供している。例えば、事前申請により、車椅子での受験、器具の持ち込み、座席の配慮、個室の用意、読み上げ・代理入力等の配慮を受け付けている。

1 当事者・開発者の視点でみたときに、アクセシビリティ配慮として評価できる点

a. 製品が提供する価値

- CBTやIBTなど様々な試験方式に対して、利用者の障害の有無にかかわらず試験に関連した情報にアクセスでき、受験機会を得ることができるように配慮している。

b. 機能面でのアクセシビリティ配慮

- 視覚障害者をはじめとして、読みやすいWebサイトを提供することで、資格試験の受験に際して公平性を担保する取り組みを行っている。
- 試験画面の拡大縮小や配色の変更などの機能的なアクセシビリティに加え、全国の試験会場では以下のような合理的配慮を提供している。
 - ✓ 47都道府県のテストセンターに筆談等の特別対応ができる会場を用意し受験機会を提供
 - ✓ 車いすでの受験、機器の持ち込み(マウス、杖、義肢装具など)、読み上げ、代理入力および個室の提供

2 当事者ニーズを踏まえた開発について、優れている点

- 開発段階で専門家に相談し、具体的な実装の改善を行い、フィードバックを受けて継続的に改善している。
- 自社のアクセシビリティガイドラインを策定しており、最新のWebアクセシビリティにも対応しようとしている。
- 様々な当事者ニーズや会場からの意見等に合わせた改善を進めており、例えば状況に応じて、CBTをIBTで実施するといった合理的配慮を提供している。

3 企業としての取組について、優れている点

- 企業の基本方針として「すべての人に公平公正な環境で試験を受験できる取組」を掲げ、これに基づいて各種対応を実装している。
- 全社向けにトレーニングの受講やガイドラインの理解を推奨しており、アクセシビリティ指針、ガイドラインを公開している。
- アクセシビリティに関する試験結果を自社サイトにおいて公表している。

4

当事者にとって重要であるが、今後更なる配慮が期待される点(今後期待したい点)

a. 製品が提供する価値

- ・ プラットフォーム事業者として、問題作成のガイドラインを提供するといった、試験問題を作成する試験主催者に対する理解促進の働きかけを行うことを期待する。
- ・ さらに、試験問題のアクセシビリティ確保を改善するようなサービスをプラットフォーム事業者として進めることを期待する。

b. 機能面でのアクセシビリティ配慮

- ・ 試験の実施において、障害の有無にかかわらず公平性を担保する取組を期待する。
- ・ 音声読み上げだけでは対応が難しい試験形式に対して、点図や半立体的な印刷方法などの代替手段を検討する必要がある、プラットフォーム事業者としての取組を期待する。
- ・ WCAGの項目3.3(入力支援)は、申し込みサイトであれば必ず関連するが「対象外」となっているため、対応を期待する。
- ・ 英検のヒアリング問題などのように、聴覚障害者にASL(アメリカ手話言語)出題などの対応も検討されることを期待する。

c. その他(普及のための周知広報、体制構築など)

- ・ アクセシビリティの専門家に助言を求めているが、当事者参加はまだ不十分である。当事者も関与する形でアクセシビリティを今後向上させていくことを期待する。